

---

# 蝶夏の戦国日記

界軌

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

蝶夏の戦国日記

### 【Nコード】

N3015P

### 【作者名】

界軌

### 【あらすじ】

連載中の小説『乱世を駆ける牙と傍らに遊ぶ蝶と』の主人公・蝶夏の日記です。彼女が思ったことをつらつら書き上げていきます。本編との整合性が取れなくても、あくまで蝶夏が書いているのであって、作者（界軌）の関知するところのものでは無いので、あしからず……。 （苦笑）

## 日記一日目のこと(前書き)

ようやく本編での話がここまで進んだので始められます。

『乱世を駆ける牙と傍らに遊ぶ蝶と』の主人公・蝶夏の戦国日記です。

思ったことを書き連ねていくだけなので、面白みは薄いかもしれませんが。

時々、例のあの人が登場する予定。

宜しくお願いします。

## 日記一日目のじゅ

茅乃にもらったノートに日記を書くことにしましたー。

茅乃は、お世話をしてくれてる小動物系のお姉さまです。

なんか、すき。クールだし。ちょっとドライなところが、あこがれの大人の女！ってかんじ。

とりあえず、こっちに来てからのことをいろいろ書いていこうと思います。

……なんで、書くほうは敬語にできるんだろ？

## 第一日目

危険人物一号との初対面。

あいつ、最悪。

生まれて初めてブラックアウト！

しんじらない。貧血でブラックアウト！！

ムカつきすぎて、これ以上書くことなし！



## 日記―日目のこと(後書き)

よんでいただき、ありがとうございます！BY蝶夏。

## 日記二回目のじゃ

今日は、やつに放っておかれた一日でしたー。

忙しいんだって。

その代わり茅乃と、方輔が勉強と囲碁を教えてくれた（^^）  
ノわーい。

って言っても勉強は、文字の読み方書き方だけだね。

こっちのひらがなは、みみずがくねくねしてるようにしかみえないし。

ビックリしたこと 食事が2食！朝とおやつの時間くらい。腹  
へり〜。

お風呂は服着たまんま！なんか、茅乃がスキルアップしてる。  
まけっぱなし???

……ふで、書きにくい。

うづ。墨落ちた。すみって字がつぶれた。

やってられるかー！





## 日記二日目のこと（後書き）

こんなもの読んで下さって有難う御座います。笑。

最後は筆を投げ出した蝶夏です。

でも、ここまで書けば頑張った方だと思えます。

私も年始の書初めが苦痛だったタイプなので……。

## 裏・戦国日記 開幕（前書き）

裏・戦国日記とは、蝶夏の親友・小金井ひよりによる、超偏った戦国豆知識（？）です。

妄想大好き娘なので、不快な表現がある可能性が大です。  
ご注意ください。

## 裏・戦国日記 開幕

皆さん、こんにちは。こんばんは。

ワタクシ、橘蝶夏の大親友で小金井ひよりと申します。

この度、本編の三日目が長過ぎて『蝶夏の戦国日記』の投稿が全  
く進んでいないことを憂えたワタクシが『裏・戦国日記』の執筆を  
買って出ました！

自他共に認める腐女子、あ、間違えた、歴女のワタクシが、皆さ  
んに戦国時代の豆知識を披露する場とさせて頂こうと思います。

今回は何の話をしようか、かなり悩みました。

蝶夏が今いる時代の話をすると、うっかりネタバレしかね無いの  
で、そこは避けるとして……。

そういえば、蝶夏が信長様によるお姫様抱っこ中に、ワタクシなら  
一千万でもその状況を買うとか言ってたみたいですが、とんでもな  
い！一億だって払いますとも！超出世払いでね。

話がそれちゃいました。

今回は信長様台頭前の戦国時代について多少語らせて頂きます。

特に有名なのは、越後の上杉、甲斐の武田ですかね？彼らの戦国  
大名に名乗りを上げる前の頃の話になります。

まあ、同じ天文年間てんぶんなので蝶夏が戦国時代に行く前の二十年かそ  
こらの間のことになりますけどね。

今回は独断と偏見で、越後の上杉にします。

こちらは、最近N Kでやっていた「天人」が有名です。別に

伏字にしないでいいと思いますが、何となくです。

まあ、あの大河ドラマで某男俳優が演じていた上杉謙信様です。天文13（1544）年に初陣を飾られた際は長尾景虎様と名乗っていました。

つまり、関東管領の上杉家の出身では無かったです。ちなみに、長尾家でも次男なので、本当は家督を継ぐ予定でも無かったです。だから、兄の晴景が長尾家当主の座に着くと、仏門に入ります。七歳で出家しちゃったんです。もったいない。いえ、だからこそ後年のストイックさが現れたというものでしょうか……。生涯不犯しょうがいふはんとか言っちゃうんです。

どうしてそんな事になったか想像するだけでご飯三杯はいけちゃうんです。なぜって仏門には衆道が……。げふんげふん。（自主規制）えーそれですね、その七年後に呼び戻されちゃうんです。

十四歳で初陣を飾ります。まあ、快進撃だったようで。なんとその功績から十九歳の時に長尾家当主に祭り上げられます。当時、戦上手がどれほどの価値を秘めていたかが伺えますよねー。

とまあ、こんな感じでこれからも時々お邪魔しちゃいます。喰っちゃっても文句は言わせないです。

ああ……。蝶夏、早く伊達政宗様に会わないかなあ。

そしたら独眼竜の懐刀と言われた片倉小十郎氏とのげふんげふんな関係リサーチしてもらって言うのに……。

裏・戦国日記 開幕（後書き）

本当に、こんなもの読んで頂き有難う御座いました。  
あっ、ひよりに消しゴム投げられた。いてて。

## 日記三日目のこと

本日は晴れ。

なごや城の外に行ってきた。那古野、らしい。

あの、かずき、って着物は以外と暑くなくて良かった。  
麻とか使ってるのかな？

馬！馬小屋に行ったけど、信長の馬、でっつか！くて態度悪！  
名前は茜丸。漢字これであってるのかな？  
目が赤く見えたのは………気のせい？

信長の部下 かつぎぶろう さん（茅乃の弟）

ながひで？さん（和製ロボット）

訪問先は、かやつ？

この間いくさをしたらしい。

さかいだいぜん？とかいう奴の生き霊が発生。

あたし霊能力ないのでよくみえたなあ………。

とりあえずムカついたから、言いたいこと言ってやったもんね！  
それですつきりしたし。

ひよりが言うには、暴言を吐かないあたしは「陸揚げされたトド」  
らしい。………どういう意味だ？っていうか、トドって自分  
で陸に上がるよね？

あつそうそう。途中の村でこどもにいっぱい会いました。

妖怪の子孫にもあったし。みんな可愛かったなあ………。  
やっぱ弟か妹欲しかったなあ。

とるで、何か、日記をかいてると、懐かしくもおぞましい心配  
がしてくるんだけど……..  
なに???

おぞましい心配ミタはどつでもいいが、お前、字が汚すぢやぞ

## 日記三日目のこと(後書き)

読んで頂き有難うございました。

もちろん『裏・戦国日記』は蝶夏に読めるはずも無く……。  
わかるのは気配のみです。



裏・戦国日記 二回目(前書き)

再び出張ってまいりました。

## 裏・戦国日記 二回目

こんにちは。こんばんは。

皆さんご存知、小金井ひよりです！

早速再登場です。いえーい！

皆さんご一緒に、いえーい！（＾O＾）ノ

さてさて今回は、戦国時代の成り立ちなんて語っちゃいまいしょうかね？

え？前は上杉謙信様について語ったんだから、今回は武田信玄様についてが順当だろうと？

……………おっさんは趣味じゃないんです。

というわけで、戦国時代についてです。

現在、こう呼ばれている時代は、室町時代の後期から始まっています。

時の室町將軍は八代・足利義政。

京都にある銀閣寺を建てた事で有名ですね。

まあ、銀閣寺っていうのは通称で、お寺としての名前は慈照寺じしょうじです。

その観音殿かんのんでんなんですよ、銀閣っていうのは。

で、その義政將軍様はですね、將軍なんかやってらんなかったんです。

さっさと位を次に譲っちゃいたくて、子どももいなかったもんだ

から弟の義視よしみさんに譲ると約束をしたんです。  
でもその後で正室との間に子どもが出来ちゃうんですよ。  
もう展開、判っちゃいますよね。

自分の子どもを次期將軍にしたい母親と、譲ってもらおう約束をしていた弟一派との対立が『応仁の乱おうにん』っていう内紛にまで発展しちゃいました。

この乱が終わった後ってのは、もう、室町幕府に諸国を纏まとめていく力は無くなってたんです。

そりゃそうですよー。

お家騒動に四苦八苦してちゃ、誰もついて行きたくなくなりますよー。

しかも当の八代將軍は芸術や宗教にのめりこんじゃってたんですから。

室町幕府が興おこった当初、將軍の下には『守護大名』がいて、自分の領国を治めていました。

領国とは、まあ、言ってしまうえば領地ですかね。ちよつと『国』に対する意識が現在とは違っていたので、一概にはそう言い切れないんですが、都道府県よりもっと独立国家チックだったと考えるただければいいかな……と思います。

で、その守護大名の下に、彼らに仕える上級役人の『守護代』。その下に領国の有力武士である『国人こくじん』。

更にその下に百姓、と続くピラミッド構造を有していました。

しかし応仁の乱以降は幕府が力を失うに連れて、この守護大名や守護代が力をつけていきます。

ぶつちやけ、「幕府が頼りにならないから、俺達自分で何とかするしかないぜー！」的な心境だったのでは。

そして、かの有名な『下克上げしくじょう』ってやつが全国で横行するわけで

す。

実力主義、弱肉強食。

この甘美な響きが世に蔓延はびこっていったんです！  
う、うふ、うふふ。

とまあ、要約するとこんなところでしょうか？

尾張国の内情については後々蝶夏と一緒に知ることが出来るとは思いますが。

界軌には精々頑張って話を進めて貰いましょう。

さて。蝶夏はちらっとワタクシの気配を感じ取っているようですが。

悪寒を感じるくらいじゃ、甘い甘い。

そう簡単に悟らせると思っなよーって感じですね。

ではでは、今回はこの辺で……。

裏・戦国日記 二回目（後書き）

またしても、こんなもの読んで頂き有難う御座いました。

注釈があります。

武田信玄おっさん説ですが、これはひよりの偏見です！  
誰だって年取ればおっさんです！

注釈になってないですね……。おかしいな。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n3015p/>

---

蝶夏の戦国日記

2011年2月3日00時51分発行